

箸が1膳の間にお金を貯めろ。

韓国のことわざに、お金に関するこんな言葉があります。

「箸が1膳の間にお金を貯めろ」

箸が1膳ということは、つまりまだ結婚をしていない状態のことです。

独り者が生活するときには、箸は1膳です。

この箸が1膳の独り身のときこそ、お金を貯めるチャンスですよという意味です。

結婚をすれば、夫と妻とで生活のために、お金を共有しなくてはなりません。

子供が生まれれば育児のためにお金が必要になり、小学中学にもなれば今度は塾や習い事などの教育費が必要です。

保険にも、もちろんお金がかかることでしょう。

食費も増え、衣類にお金もかかり、家賃にお金もかかるようになります。

面倒を見なければいけないことが増え、悩みは増え、ストレスも増えていきます。

減るのは、お金ばかり。

箸が2膳、3膳、4膳と増えていくほど出費が増えて、自分が自由に使えるお金が減っていきます。

独り身は、自由にお金が使え、またお金を貯めるチャンスなのです。

自分で稼いだお金はすべて自分に使うことができ、独り身ほど節約できる時期ありません。

出費をしなければならぬイベントが、これほど少ないときはない。

いずれ結婚すれば、お金を使わざるを得ないことばかりが続きます。

独り身といえば、寂しいイメージを持っている人が多いのですが、自分のために自由に使える最後のチャンスなのです。



☑ 金銭感覚を身につける方法 その12

独り身の間に、お金を貯めておく。